

2015年3月期 連結業績概要

執行役員
桃塚 高和

- ◆ **売上高は1兆円を突破、過去最高の10,826億円**
自動車市場向けや中国・北米スマホ向け販売が好調で
受動部品、フィルム応用製品セグメントで売上が過去最高
- ◆ **営業利益は前年より98%増の725億円**
主要3セグメントにおいてバランスの取れた収益構造が定着
税後利益は494億円と前年比3倍
- ◆ **旺盛な需要に対応した積極的な設備投資を実行**
投資を先行させながらキャッシュフロー改善、7期振りに
ネットキャッシュポジションを達成

2015年3月期 連結業績概要

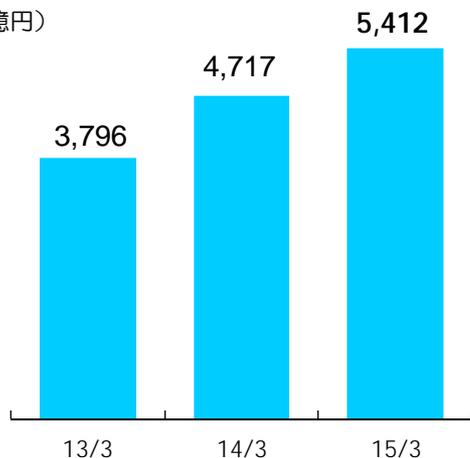


(億円)	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	9,845	10,826	981	10.0
営業利益	366	725	359	98.1
営業利益率	3.7%	6.7%		-
継続事業税引前利益	398	745	347	87.2
継続事業純利益	218	528	310	142.2
非継続事業純利益	△ 36	-	-	-
非支配持分利益	19	33	14	73.7
当期純利益	163	494	331	203.1
1株当たり利益 (円)	129.47	392.78	-	-
為替	対ドルレート (円)	100.26	109.84	9.6%の円安
	対ユーロレート (円)	134.42	138.88	3.3%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約797億円の増収 営業利益：約150億円の増益			

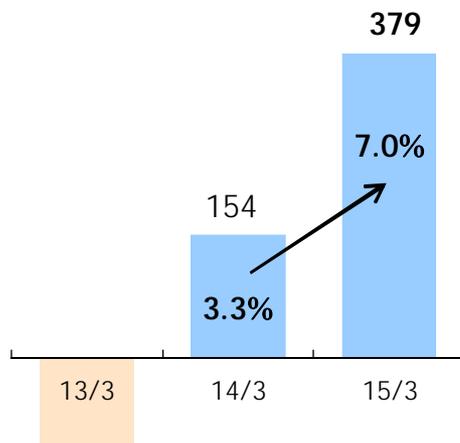
(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

売上高

(億円)



営業利益(営業利益率)



-111

売上高 5,412億円 (前期比14.7%増)
 営業利益 379億円 (前期比146.1%増)

●セラミックコンデンサ

- ・自動車市場向け販売が堅調に推移し、前期比増収増益
- ・生産性改善効果により利益率も改善

●インダクティブデバイス

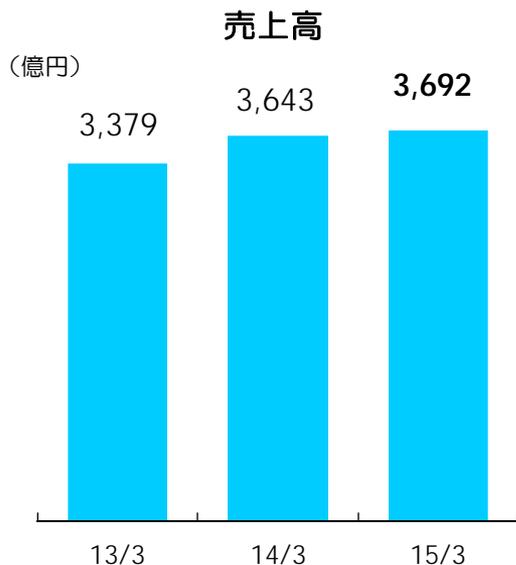
- ・北米及び中国スマホ需要を中心としたICT市場や自動車市場向け販売増加及び品種構成の良化により、前期比増収増益

●高周波部品

- ・北米及び中国スマホ需要を中心としたICT市場販売増加及び生産性の改善等により、前期比増収増益

●圧電材料部品

- ・自動車市場向け部品やカメラモジュール用VCMの販売増加により、前期比増収増益



売上高 3,692億円 (前期比1.3%増)
 営業利益 287億円 (前期比2.1%増)

●記録デバイス

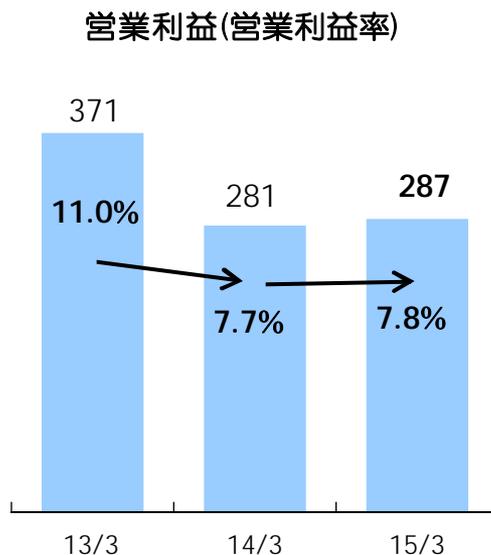
- ・HDDヘッドの出荷数量は前期より減少したが、サスペンションの販売が伸び増収
- ・生産性改善効果やデータセンタ向け販売が伸び始めたことによる品種構成の良化により前期比で増益

●マグネット

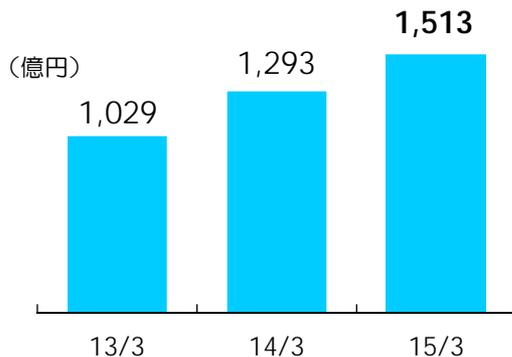
- ・自動車及びICT市場向け販売が減少
- ・3Qに金属磁石関連設備の減損を実施

●電源

- ・半導体製造装置、FA機器等の産業機器市場向けの販売は堅調に推移し増収
- ・3Qにのれん減損を実施

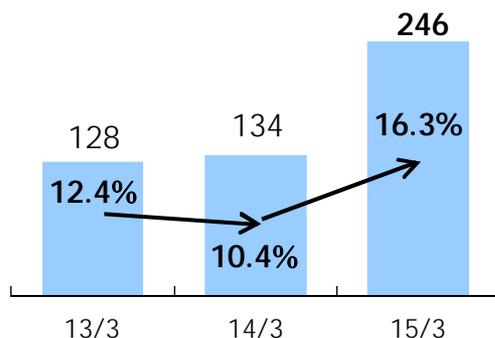


売上高



売上高 1,513億円 (前期比17.0%増)
 営業利益 246億円 (前期比83.6%増)

営業利益(営業利益率)



● エナジーデバイス (二次電池)

- 主要顧客の新型スマートフォン向け販売や、中国市場を中心とした顧客ポートフォリオの拡大により、前期比増収増益

2015年3月期 セグメント別通期実績



		2014年3月期 通期実績		2015年3月期 通期実績		対前年同期比		
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)	
売上高		(億円)						
		コンデンサ	1,396	14.2	1,490	13.8	94	6.7
		インダクティブデバイス	1,403	14.3	1,542	14.2	139	9.9
		その他受動部品	1,917	19.5	2,380	22.0	463	24.2
		受動部品合計	4,717	47.9	5,412	50.0	695	14.7
		記録デバイス	2,567	26.1	2,605	24.1	38	1.5
		その他磁気応用製品	1,076	10.9	1,087	10.0	11	1.0
		磁気応用製品合計	3,643	37.0	3,692	34.1	49	1.3
		フィルム応用製品合計	1,293	13.1	1,513	14.0	220	17.0
		その他	193	2.0	209	1.9	16	8.3
	合計	9,845	100.0	10,826	100.0	981	10.0	
営業利益		受動部品	154	3.3	379	7.0	225	146.1
		磁気応用製品	281	7.7	287	7.8	6	2.1
		フィルム応用製品	134	10.4	246	16.3	112	83.6
		その他	△32	△ 16.6	3	1.4	35	-
		小計	537	5.5	914	8.4	377	70.2
		全社および消去	△171	-	△190	-	△19	-
		合計	366	3.7	725	6.7	359	98.1

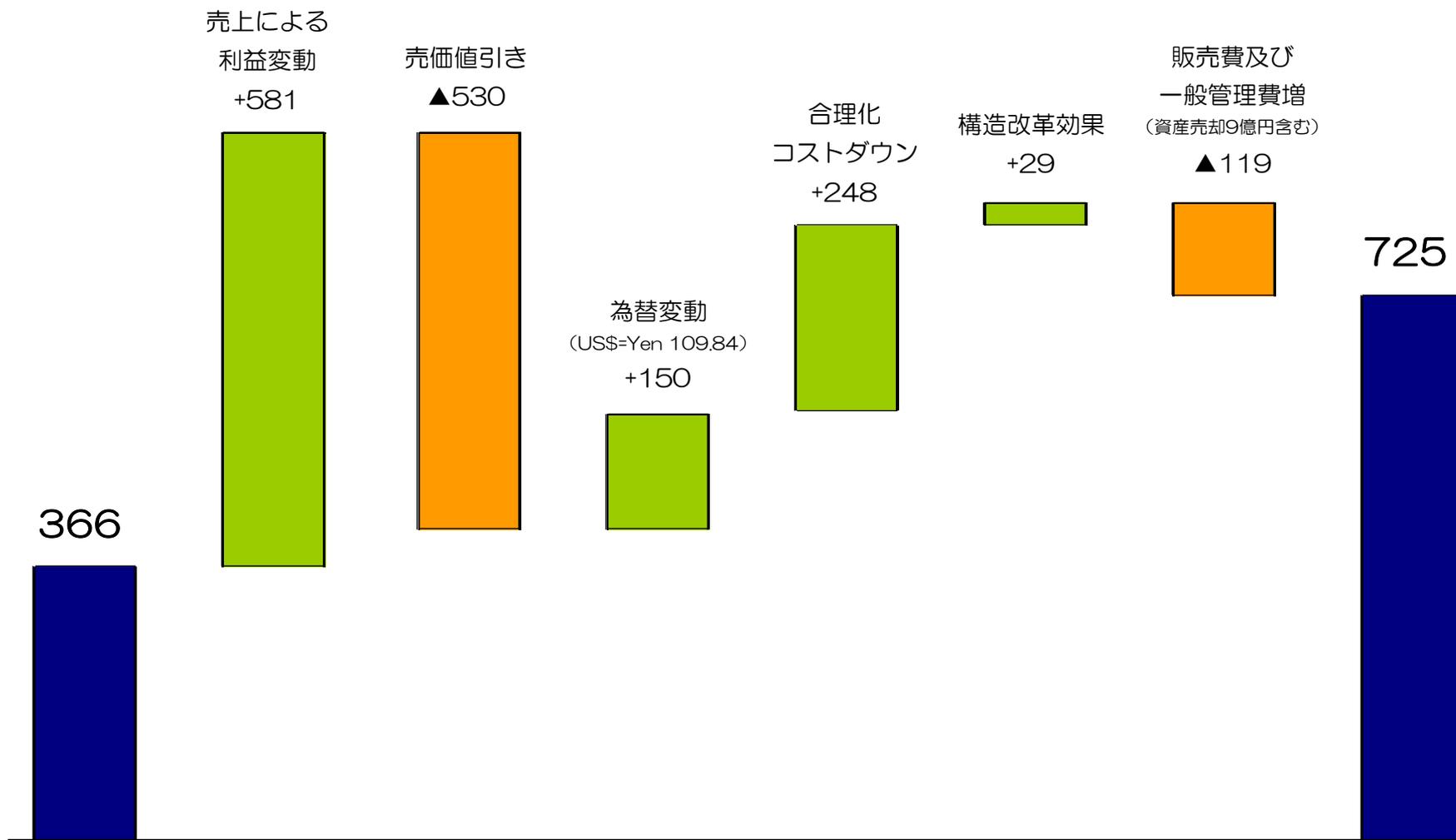
営業利益増減分析

2014年3月期
366億円

営業利益 +359億円

2015年3月期
725億円

(単位：億円)

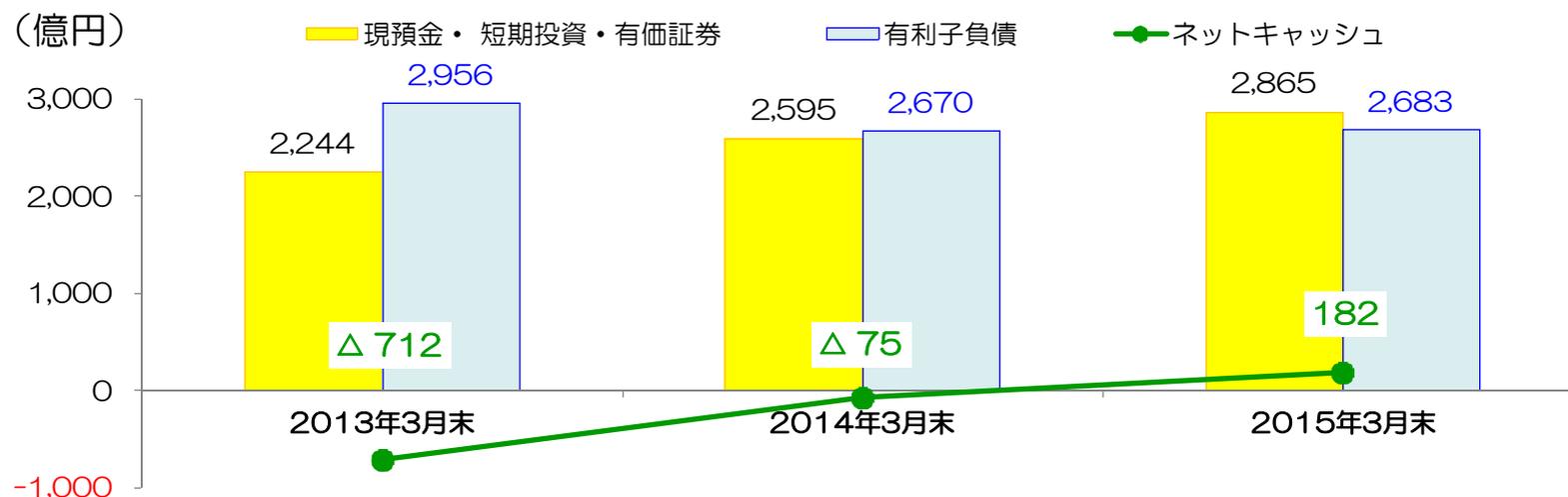


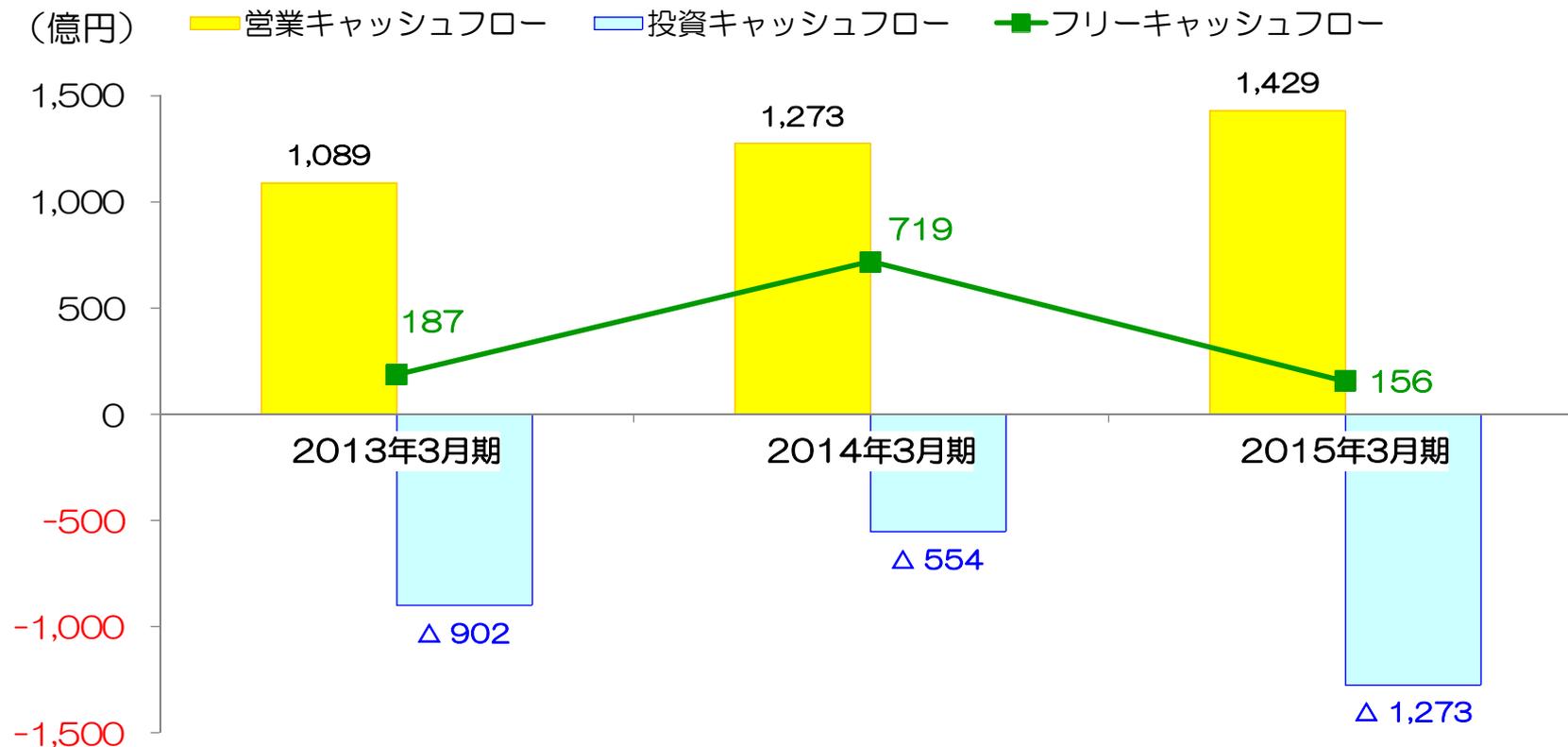
2015年3月期 セグメント別四半期実績



(億円)		2014年3月期 第4四半期 (A)	2015年3月期 第3四半期 (B)	2015年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	361	375	376	15	4.2	1	0.3
	インダクティブデバイス	349	403	384	35	10.0	△ 19	△ 4.7
	その他受動部品	471	682	634	163	34.6	△ 48	△ 7.0
	受動部品合計	1,181	1,461	1,394	213	18.0	△ 67	△ 4.6
	記録デバイス	612	751	626	14	2.3	△ 125	△ 16.6
	その他磁気応用製品	283	265	275	△ 8	△ 2.8	10	3.8
	磁気応用製品合計	895	1,016	901	6	0.7	△ 115	△ 11.3
	フィルム応用製品合計	291	474	441	150	51.5	△ 33	△ 7.0
	その他	58	53	63	5	8.6	10	18.9
	合計	2,425	3,004	2,799	374	15.4	△ 205	△ 6.8
営業利益	受動部品	3	119	83	80	-	△ 36	△ 30.3
	磁気応用製品	54	73	61	7	13.0	△ 12	△ 16.4
	フィルム応用製品	11	96	94	83	754.5	△ 2	△ 2.1
	その他	△ 8	1	5	13	-	4	400.0
	小計	61	290	243	182	298.4	△ 47	△ 16.2
	全社および消去	△ 45	△ 38	△ 50	△ 5	-	△ 12	-
	合計	17	252	194	177	-	△ 58	△ 23.0
営業利益率		0.7%	8.4%	6.9%	+6.2pt	-	△ 1.5pt	-
為替	対ドルレート (円)	102.97	114.25	119.21				
	対ユーロレート (円)	141.12	142.79	134.74				

(億円)	2013年 3月末	2014年 3月末	2015年 3月末	対2014年比 増減
総資産	11,696	12,396	14,043	1,647
負債合計	5,890	5,873	6,463	590
株主資本	5,612	6,353	7,389	1,036
(うち包括利益)	△1,590	△871	△59	812
株主資本比率	48.0%	51.3%	52.6%	1.3%
現預金・短期投資・有価証券	2,244	2,595	2,865	270
有利子負債	2,956	2,670	2,683	13
ネット・キャッシュ	△712	△75	182	257





(億円)	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	対2014年比 増減
固定資産の取得	856	686	1,025	339
減価償却費	779	831	802	△29

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/4q_1.htm